今月の焦点

海外経済金融

米国クレジットユニオンの現況と経営戦略－④

～地域コミュニティの発展に取り組む ノースイースト・コミュニティ・フェデラル・クレジットユニオン～

古江　晋也

要旨

・米国クレジットユニオンのなかには、低中所得者やコミュニティに金融サービスを提供することを目的とした「地域開発クレジットユニオン」がある。この地域開発クレジットユニオンは米国財務省・地域開発金融機関基金の認証を受けて、地域コミュニティの発展に取り組んでいる。

・サンフランシスコ市チャイナタウン地区にメインオフィスを構えるノースイースト・コミュニティ・フェデラル・クレジットユニオンは、地域開発クレジットユニオンとして低所得者、ホームレス、新たな移民者、金融機関に口座などがない「アンバンクト」と呼ばれる人々にも金融サービスを提供している。

地域開発クレジットユニオンとは

米国クレジットユニオンのなかには、低中所得者やコミュニティに金融サービスを提供することを目的とした「地域開発クレジットユニオン」がある。同クレジットユニオンは全米地域開発クレジットユニオン連盟に加盟しており、米国財務省・地域開発金融機関基金（Community Development Financial Institution Fund）から地域開発金融機関の認証を受けている。

地域開発金融基金とは、低中所得者コミュニティに金融サービスを提供する金融機関の能力を拡大させることを任務とし、地域経済の再活性化などを図るために1994年、リーグル地域開発・規制改善法によって創設された。

またクレジットユニオンのなかには、全米クレジットユニオン管理庁（National Credit Union Administration、以下「NCUA」）の認可を受けることで、①非組合員からの預金受入、②NCUAから低利ローンと技術的支援の受入が可能となる「低所得クレジットユニオン」もある。

本稿では地域開発金融機関と低所得クレジットユニオンの認定を受けているノースイースト・コミュニティ・フェデラル・クレジットユニオン（以下、「ノースイースト」）の取組みを紹介することで、クレジッ

図表1　NCFCUの概況

	2006年末	2007年末	2008年末
総資産（ドル）	812万371ドル	851万4,906ドル	868万367ドル
総資産（円）*	8億1,203万7,100円	8億5,149万600円	8億6,803万6,700円
シェア（預金）	645万6,729ドル	676万8,898ドル	689万9,408ドル
総持分	160万2,974ドル	170万8,316ドル	176万5,104ドル
純利益	13万4,432ドル	10万5,342ドル	5万6,788ドル
自己資本比率	15.52%	16.04%	16.39%
組合員数	1,373人	1,524人	1,587人
職員数（含パートタイマー）	10人	9人	10人

（出所）National Credit Union Administration, Financial Performance Reportより
*1ドル＝100円で換算

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます

写真1　ノースイースト･メインオフィス

写真2　サンフランシスコ･チャイナタウン地区

トユニオンにおける低中所得者やマイノリティ・コミュニティ経済の再活性化を検討する。

ノースイーストのビジネスモデル

ノースイーストはサンフランシスコ市チャイナタウン地区にメインオフィスを構える小規模なクレジットユニオンである（写真1､2参照)。同クレジットユニオンは1981年､「組合員の満たされない貯蓄と信用ニーズを満たす」ことを任務とする地域開発クレジットユニオンとして設立された。

設立当初は、ボランティアによる支援や助成金などを受けて運営されていたが､1988年には一般の金融機関から融資を受けることができない人々にスモールビジネスローン（零細企業等向け融資）を提供するまでに成長。1996年にはテンダーロイン地区にテンダーロイン支店を､2007年にビジテーションバレー地区にビジテーションバレー支店を開設した。

組合員資格範囲を「地域型」としているノースイーストは､現在､チャイナタウン､テンダーローン､サードストリート、ビジテーションのほか、ノースビーチ、ノブヒルの一部を含めているが、これらの地域の大きな特徴は世帯の平均収入額が、サンフランシスコにおける世帯の平均収入額(5万5,221ドル・2000年）の28～75%の範囲となっていることにある。また、組合員のなかには低所得者、ホームレス、新たな移民者も少なくなく、後述するように低所得者層が一般的な金融機関から金融サービスを受けることが困難ななか、なくてはならない存在となっている。

一方、ノースイーストは前述したように地域開発金融機関と低所得クレジットユニオンの認証を受けているため、商業銀行などから無利息の預金が5年間預けられることに加え、NCUA、サンフランシスコ市、米国最大の募金組織であるユナイテッドウェイ、赤十字から助成（金）を得ることができ、店舗家賃やスタッフの給与などを賄っている。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載･複製を禁じます

写真3　ペイデーローン業者

商業銀行がノースイーストに無利息の預金を預け入れる背景には、地域再投資法（Community Reinvestment Act：以下「CRA」）がある[注1]。地域再投資法とは、預金取扱金融機関が低中所得者などをも含めた営業地域のクレジットニーズを満たすことを促進するため、1977年に制定された。連邦準備制度理事会、連邦預金保険公社、通貨監督庁、貯蓄金融機関（スリフト）監督庁の金融機関監督当局は同法により検査を実施。銀行の支店開設、合併・買収申請を許可するかどうかの判断材料としている。

地域再投資法は当初、積極的に適用されてこなかったが、80年代後半に大手金融機関の合併申請が却下されたことや 90 年代初頭に CRA 格付けが公表されるようになったこともあり、注目されるようになった。同法は 90 年代半ばに強化されたこともあり、店舗の新規出店、合併買収、リピュテーションなど金融機関の経営戦略に影響を与える要因の一つになっている。ただし、低所得者コミュニティに投資を行うことは貸倒などのリスクなども考慮しなければならない。このような二律背反を満たす方策が地域開発金融機関の支援であり、このことによって CRA の基準を満たすとともに、貸倒リスクなどを回避することができる。

[注1] 地域再投資法については米国連邦金融機関検査協議会（the Federal Financial Institutions Examination Council）ホームページなどを参照。

低所得者等と米国社会

一般に、低所得者、ホームレス、新たな移民者、金融機関に口座などがなく取引を行っていない「アンバンクト」（unbanked）と呼ばれる人々は、銀行などの金融機関と取引できないため、ペイデーローン業者、小切手換金業者、質屋などから基本的な金融サービスを受けている。ペイデーローン業者（写真 3 参照）は、顧客に給料日までの「繋ぎ資金」（2～4 週間）として数百ドルを貸し出す小口金融サービスを提供しているが、同ローンは米国で大きな社会問題にもなっている。その理由は州によって異なるものの、年利 400%～800%以上に相当する手数料を課すことにあり、利用者のなかには借換を行う利用者も少なくなくないためである。また、「アンバンクト」である人々は、同ローン業者に小切手換金のために高い手数料を支払っている。

州によってはペイデーローン業者を規制しているところもあるが、カリフォルニア州の場合、ペイデーローン業者の手数料上限は年利 460.16%（14 日間）となっている。深刻化する「アンバンクト」問題に対処するため、カリフォルニア州政府は「バンク・オン・カリフォルニア」というキャンペーンなどを実施しており、貯金、信用履歴の構築やアクセスを促している。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます

写真4　テンダーロイン支店

写真5　テラーカウンター

また、米国では金融機関との取引を行う上で口座維持手数料などの費用や良好な信用情報が求められる。しかし、低所得者や新たな移民者の人々のなかには手数料を支払うことができなかったり、高いクレジットスコアを獲得することができず、一般の金融機関へのアクセスが排除されるケースもある。

フレッシュスタートローンとグレースローン

このような状況のなか、ノースイーストは、貯蓄口座、定期預金、振込、個人開発口座（Individual Development Accounts）、個人ローン（有担保・無担保）、自動車ローン、住宅ローン、リフォームローン、スモールビジネスローンなどの一般的な金融商品を取扱っているが、なかでも「フレッシュスタートローン」や「グレースローン」といったユニークなローン商品もある。

フレッシュスタートローンとは、組合員が信用履歴の再建や貯蓄を行うことを目的としたローンであり、ノースイーストが開発。現在は 30 人程度が継続して利用している。同ローンは預金担保ローンであり、ローン金額が組合員の口座に預金される。ローン金額は数百ドル程度であり、ローン期間中、その預金は事実上の担保となるため、引き出すことができない。借入者はローンの元本と利息を月々返済し、ローンが滞りなく返済されれば、組合員は元本と利息の全額を受け取ることができる。そのため、収入を上回って消費を行う傾向のある人々でも貯蓄することができる。また、ノースイーストは信用情報機関に報告を行うため、クレジットスコアを向上させることができる。

一方、「グレースローン」とはペイデーローンの代替的金融商品であり、一定の条件をもとに口座振込額の 30%以下、または 300 ドルを上限として 2 週間に年利 18%で融資を行っている（300 ドルで 2 週間の場合、金利は 2.07 ドル）。さらに、同クレジットユニオンでは当座預金を扱っていないが、組合員の請求書の支払には銀行小切手で対応し、１ヵ月に 5 回までを無料とするなどの取組みを行っており、地域社会の人々に対応している。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載･複製を禁じます

ボランティア所得税支援制度など

ローン商品以外にもノースイーストは地域ならではの金融サービスを行っている。例えば、日本では税務代理業務が税理士の独占業務となっているが、米国ではボランティア所得税支援制度があり、民間ボランティアが無料で税務相談などを行っている。筆者は 2 月上旬に同クレジットユニオンを訪問したが、メインオフィスやテンダーローン支店（写真 4、5 参照）は、小切手の換金などテラー業務を利用する組合員に加え、地域住民の電子申告などボランティア所得税支援制度のサービスを受けようとしている組合員などが来店しており、活気があった。

また、ノースイースト職員は組合員に常に貯蓄を行うように指導及びカウンセリングを行っている。金融教育は、小学校や中学校などでも実施。家計管理の重要性や無駄遣いをしないように訴えている。

おわりに

本稿では地域開発型クレジットユニオンであり、地域開発金融機関であるノースイーストの取組みを検討した。前述の通り、低所得者、新たな移民者、「アンバンクト」らが日常的に金融機関を利用するのは大きな困難を伴うことが多い。そうした人々に対する金融サービスを提供するクレジットユニオンの一つがノースイーストであり、全米地域開発クレジットユニオン連盟によれば、地域開発クレジットユニオンは 230 組合ある。

また、ノースイーストに訪問する組合員のなかには、同クレジットユニオンの職員に気軽に相談を行うなど、組合員と密接な関係を構築している。

サンフランシスコ市は米国の中では比較的豊かさを享受している都市の一つであるが、その一方で金融サービスを受けることができない人々が多く存在しているのも事実である。ノースイーストなどの地域開発クレジットユニオンは、それらの地域の人々にとって不可欠な存在となっており、今後の展開が期待される。

【参考文献】

・ノースイースト・コミュニティ・フェデラル・クレジットユニオン・ホームページ。

・全米地域開発クレジットユニオン連盟（National Federation of Community Development Credit Unions）ホームページ。

・米国連邦金融機関検査協議会ホームページ。

・米国地域金融サービス協会（The Community Financial Services Association of America）ホームページ。

・サンフランシスコ市ホームページ。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます